

岩木山百沢土石流災害から 50 年目の節目を迎えて

岩木山百沢土石流災害の概要

はじめに

昭和 50 年 8 月 5 日夜半から 6 日未明にかけて、津軽地方を襲った雷雨を伴う集中豪雨は、各地に大きな被害をもたらした。

なかでも、岩木町百沢地区（現 弘前市百沢地区）では急襲した蔵助沢の土石流により、一瞬のうちに住家 17 棟が流され、死者 22 名、重軽傷者 45 名を出すという痛ましい大惨事を引き起こし、岩木町において未曾有の生々しい災害の爪痕を残した。青森県の局地災害としては、土石流災害で最大規模となった。

被害は町内全域に及び、その総額は 53 億 6,000 万円に上り、青森県内被害額の 44% を占めることとなった。



岩木山百沢地区で発生した土石流の状況

S50.8.6 時点

写真：青森県資料より